



## L-Mole工法

φ1,500~φ3,000m/m

## 立坑・推進一体化工法

### 概要

L-Mole工法LMVはケーシングを地中に揺動圧入して内部を掘削します。ケーシングを土留めとして使用するので地盤改良が必要ありません。

### 特長

- 自走式ですから立坑の芯だしと現場内での移動が簡単です。
- 自動化された揺動圧入システムにより、簡単な操作で確実な施工ができます。
- 側面にウェイトを配置することにより有効な反力が得られると同時に、ダンプ車への土砂の積み込みが容易です。
- ウインチ巻き下げ時、ワイヤーを保護するワイヤーテンショナーを標準装備しています。
- 専用バケット使用により確実な掘削と排土ができます。



機 種	LMV1,500		LMV2,000			LMV2,500		LMV3,000		
掘削口径	mm	φ1,590	φ1,890	φ1,590	φ1,890	φ2,090	φ2,090	φ2,590	φ2,590	φ3,090
バケット容量	m <sup>3</sup>	0.20	0.20	0.20	0.35	0.55	0.55	0.95	0.95	0.95
バケット開口径	mm	φ1,410	φ1,690	φ1,410	φ1,690	φ1,870	φ1,870	φ2,360	φ2,360	φ2,850
圧入力	ton	30		40			50		50	
引抜き力	ton	50		70			90		90	
揺動トルク	t-m	35		49			70		100	
揺動角度	度	13		11			9		9	
最大掘削深さ	m	12		16			16		16	
エンジン出力	—	85PS/2,100rpm		135PS/1,950rpm			230PS/1,900rpm		230PS/1,900rpm	
機械総重量	ton	18.5		31.5			48		52	